

○ 土地利用計画骨子素案《グラフパターンの場合》とまちづくりコンセプト

- 大規模な街区で構成し、中低層・低密度のまちづくりを行う。
- 緑は各街区をつなぐとともに、一定程度まとめて配置する。
- 地区内への一般車両の乗り入れは、縁辺部の駐車場のみとし、ゆとりある歩行者空間を設けて、各街区や隣接する相模原スポーツ・レクリエーションパークへの動線も確保する。
- 優先する機能を街区ごとに定め、施設用途を複合化する。



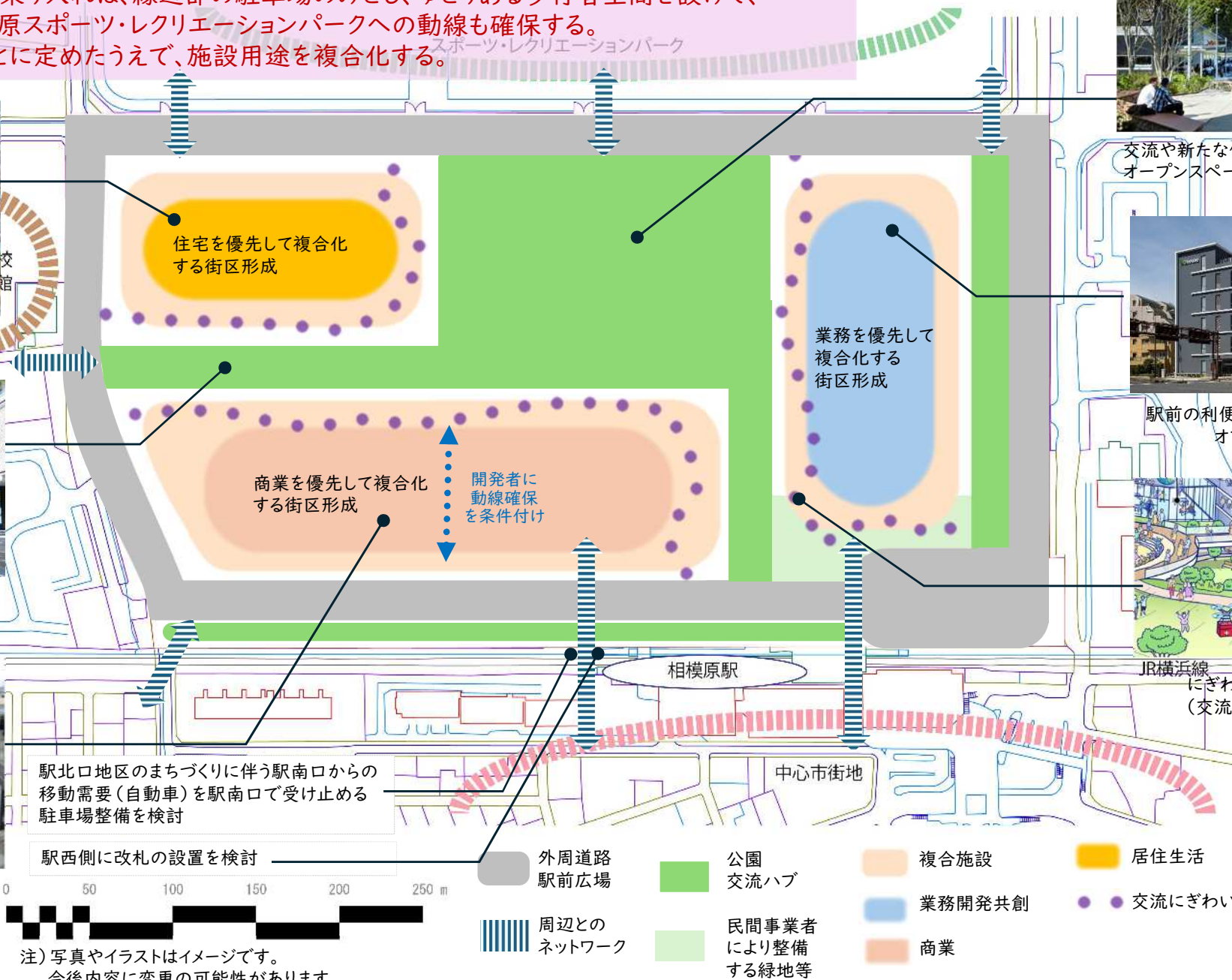
生活サービス機能を複合した
多世代型住宅



交流の場となる回遊空間



歩いて居心地の良い
低層の商業施設



交流や新たな価値を創出する
オープンスペース(交流ハブ)



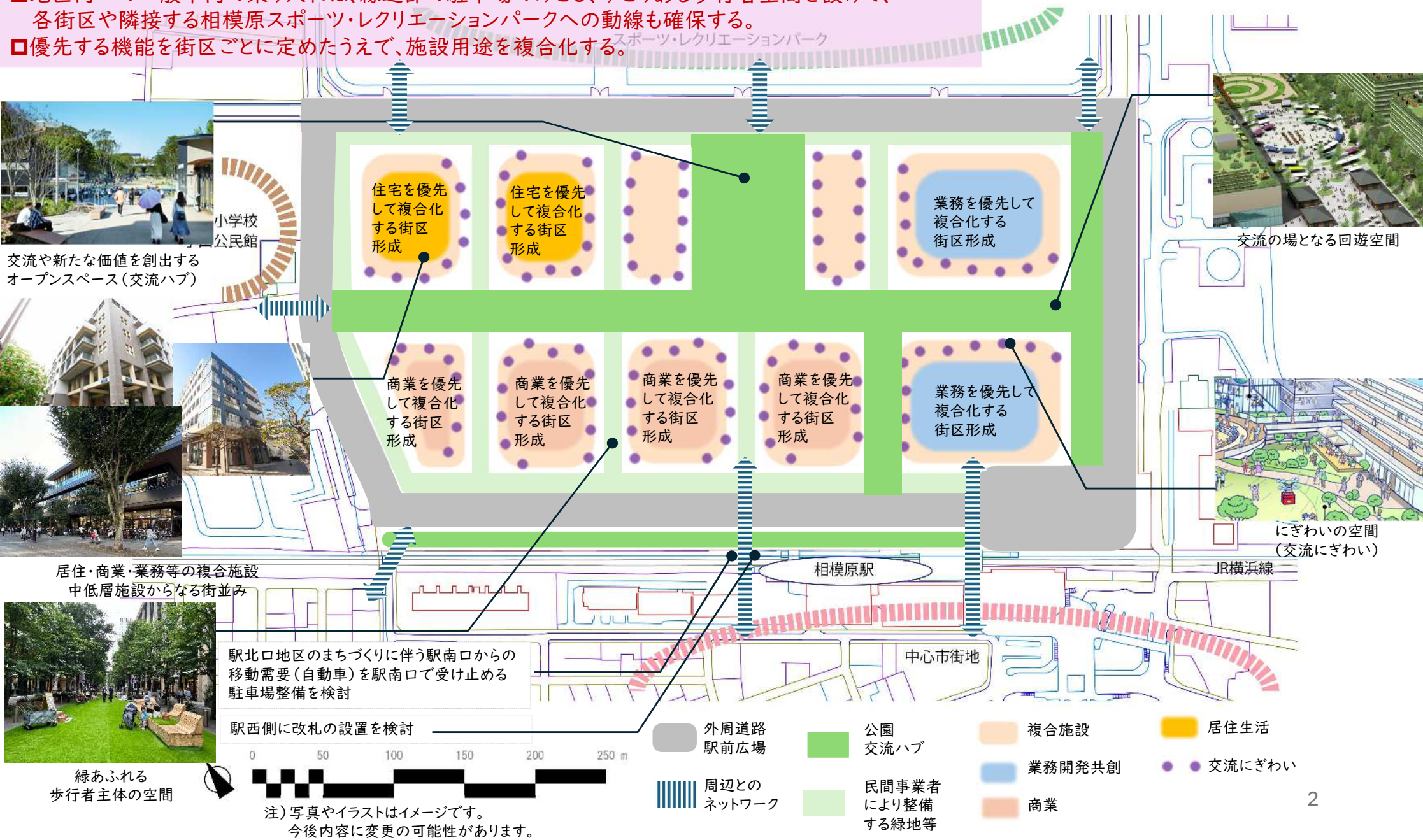
駅前の利便性を活かした
オフィス



JR横浜線
にぎわいの空間
(交流にぎわい)

○ 土地利用計画骨子素案《グリッドパターンの場合》とまちづくりコンセプト

- 一辺が概ね100m程度のヒューマンスケールの街区に分け、中低層・低密度のまちづくりを行う。
- 緑は各街区をつなぐとともに、エリア全体にちりばめるように配置する。
- 地区内への一般車両の乗り入れは、縁辺部の駐車場のみとし、ゆとりある歩行者空間を設けて、各街区や隣接する相模原スポーツ・レクリエーションパークへの動線も確保する。
- 優先する機能を街区ごとに定め、施設用途を複合化する。



○ 土地利用計画骨子素案とまちづくりコンセプト

まちづくりコンセプト（事務局案）

【まちづくりコンセプトの考え方】

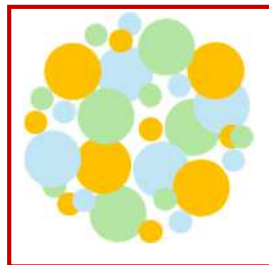
○まちづくりコンセプト（R2.5）

多様な交流が新たな価値をうみだす

ライフ × イノベーション シティ



○相模原駅北口地区土地利用計画（R7夏策定予定）



多様な交流が新たな価値をうみだす

グリーン × ライフ × イノベーション シティ

Challenge sagamihara

※検討中

これまでの考え方に加え、環境を広義に取入れクローズアップする方向性で検討